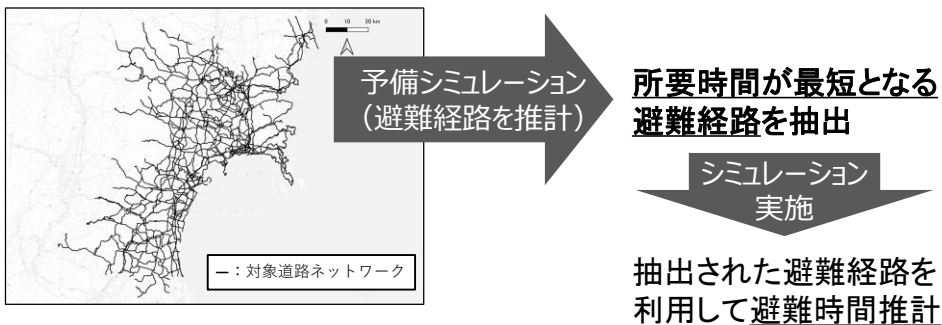


1 目的

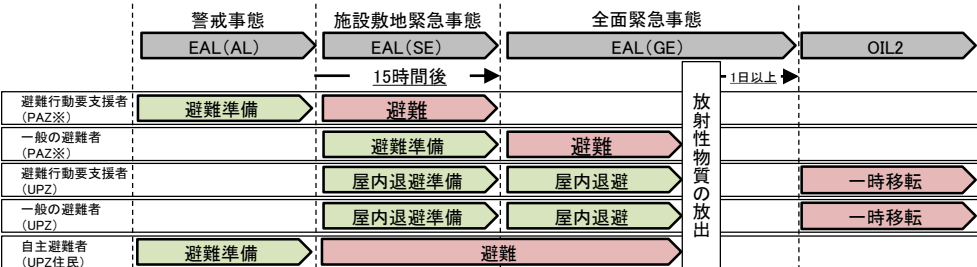
宮城県地域防災計画〔原子力災害対策編〕及び関係市町の避難計画等において想定している原子力災害時における住民の避難経路や方法・手順等について、避難時の交通シミュレーション(以下、「シミュレーション」)を行い、住民に対して適切な避難行動の周知と理解促進のための基礎情報を得る。

2 シミュレーションの前提条件(詳細は概要版p21等)

(1) 予備シミュレーションの実施(概要版p15)

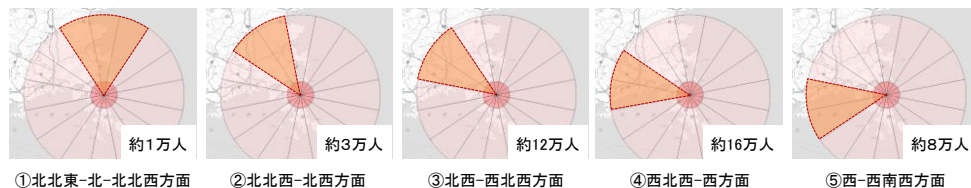


(2) 避難／一時移転のタイミング(概要版p12)



※PAZには、準PAZも含まれる。以降も同様。

(3) UPZ一時移転の方面: 原則16分割の2方位(概要版p20)



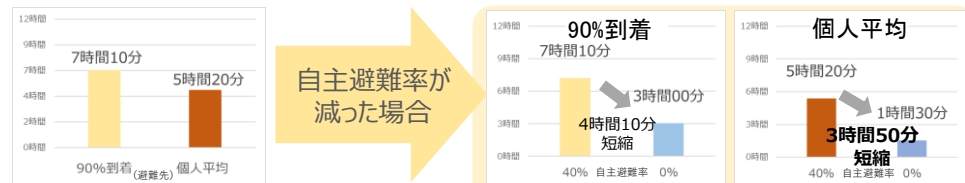
3 段階的避難のシミュレーション(基本シミュレーション)

内閣府のガイダンス※を参考に、UPZ住民の自主避難率40%で実施し、結果については、「90%到着」及び「個人平均」の時間を指標とする。

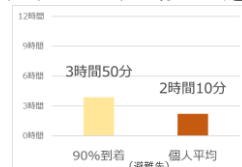
「90%到着」: 90%の住民が避難先等の目的地に到着するまでの時間
「個人平均」: 対象とする住民一人一人の目的地までの避難時間の平均

※内閣府「原子力災害を想定した避難時間推計基本的な考え方と手順ガイダンス(平成28年4月11日)」

(1) PAZ(避難行動要支援者の避難)(概要版p29)

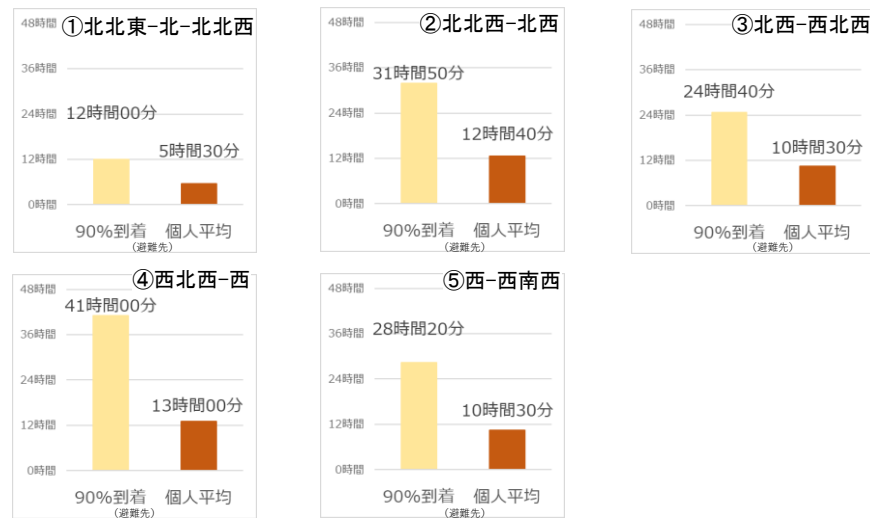


(2) PAZ(一般の避難者の避難)(概要版p 51)



UPZ自主避難率40%→0%で、SE避難時間が約4時間短縮
⇒ UPZからの自主避難を抑制することが重要

(3) UPZ(OIL2一時移転)(概要版p55~69)



4 実効性向上にむけたシミュレーション(追加シミュレーション)

(1) 特定の避難退域時検査等場所に集中する避難交通を、予備の避難退域時検査等場所を活用することで分散(空間的分散)(概要版p36~40)

- 方面は、5方面それぞれで実施
- 避難先の方角を考慮し、予備の避難退域時検査等場所を割当て

① 登米総合体育館から変更した地区(概要版p37)



対象地区	変更前検査等場所	変更後検査等場所
避難先が「気仙沼市」	登米総合体育館	南三陸町歌津総合支所
避難先が「登米市中田」		中田総合体育館

② 鷹来の森運動公園から変更した地区(概要版p37)

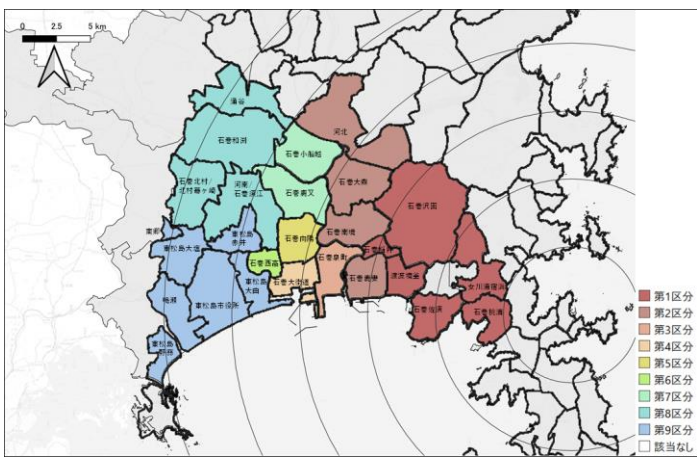


対象地区	変更前検査等場所	変更後検査等場所
避難先が「加美郡」	鷹来の森運動公園	鹿島台中央野球場
避難先が「富谷市、黒川郡」		大郷町文化会館
避難先が「岩沼市」		加瀬沼公園

避難退域時検査等場所到着までの90%到着時間は、30~50%程度短縮、個人平均避難時間は、20~50%程度短縮

(2) 一斉に一時移転を開始することで集中する避難交通を、一時移転の開始のタイミングを区域ごとに変更することで分散(時間的分散)(概要版p41~43)

- 方面は対象人口が最も多い西北西-西のみ
- 防護措置単位※に基づき、対象区域を第1から第9区分まで分割
- 区分内の全員が避難退域時検査等場所に到着した時点で、次の区分が一時移転を開始



※一時移転を実施する際に指示が発出される地区の単位

個人平均避難時間(避難退域時検査等場所到着時間)は、全ての市町で50%以上短縮し、対象区域全体で63%短縮

5 結果から得られる適切な避難行動(概要版p45, 46)

- PAZ避難時 ⇒ 行政の指示に基づいた避難
- UPZ一時移転時 ⇒ 行政の指示に基づいた一時移転

6 今後の対応について

本調査で得られた基礎情報をもとに、関係市町と連携し、住民周知用のリーフレットを作成・配布するとともに、訓練への参加などを通じて、適切な避難行動に対する住民の理解促進を図る。

別添資料

「宮城県原子力災害時避難行動周知促進調査事業 報告書概要版」